

目で見る子どもの保健

「子どもの保健」の目標は、子どもの身体と心の健康を支え、子ども自身が本来持っている力や可能性を伸ばしていけるようにすることです。このシリーズは子どもの成長(発育)・発達、健康を守る保健活動、乳幼児に見られるさまざまな病気、そしてその予防や対応、心の健康や問題など、子どもの健康の維持増進に必要な知識を実際の映像やCGでわかりやすく解説しています。



DVD

■各巻価格 ￥28,000 (税込￥30,800)

●DVD全9巻 ■セット価格 ￥252,000 (税込￥277,200)



◆対象：保育者養成校・看護学部・体育学部 など



■成長・発達編

VOL.1 成長(発育)・発達と保健

39分

■原案監修：加藤 忠明 前国立成育医療研究センター 成育政策科学研究部長

乳幼児期はめざましい成長・発達を遂げています。日常の中でも新しいことができるようになる子どもの姿をみることができます。この巻では乳幼児がどのような成長・発達を遂げているかについて、発育の原則、乳幼児の身体計測やその発育の評価、また胎内から乳幼児までの発育や生理機能、運動機能、精神機能の発達について、実際の乳幼児の映像やCGを用いて分かりやすく解説します。

VOL.2 健康と保健活動

44分

■原案監修：加藤 忠明 前国立成育医療研究センター 成育政策科学研究部長

保健活動の目標は、子どもが本来もっている成長・発達する能力が十分に発揮されるように支援することです。この巻では健康とは何か、近年の子どもの関連する統計、制度、そして乳幼児健康診査やマスキングなど子どもの健康を守る保健活動や保育士などの専門職の保健活動を実際の映像で解説しています。また乳幼児突然死症候群(SIDS)や児童虐待についても説明しています。

■病 気 編

VOL.1 先天異常

34分

■原案監修：加藤 忠明 前国立成育医療研究センター 成育政策科学研究部長

先天異常とは、一般的には日常生活に差し障りのある異常を、生まれつきもっている場合をいいます。この巻では、染色体異常など先天異常の原因やダウン症などの疾患について解説します。

VOL.2 感染症

40分

■原案監修：岩田 力 東京家政大学 子ども学部 教授

子どもが集団で生活する保育所などの施設では、さまざまな感染症が流行します。この巻では病原体や感染経路などの感染症の三大要因、子どもによくみられる感染症を、呼吸器症状(インフルエンザなど)、皮膚症状(突発性発疹、麻疹など)消化器症状(感染性胃腸炎など)に分けて資料画像などを用いて解説します。また感染症の予防として予防接種や保育施設での感染症対策などについて解説します。

VOL.3 免疫とアレルギー疾患

34分

■原案監修：岩田 力 東京家政大学 子ども学部 教授

免疫とは感染症やがんなどの病気にならないように体内で働く仕組みことです。この巻では、身体を守る「免疫の仕組み」と、その働きによって不利益な反応を起こすアレルギーについてCGや実写を用いてわかりやすく解説し、さらに子どもに多くみられ、またその対応が必要になる、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、気管支喘息を資料画像などを用いて、それぞれの疾患の対応とともに解説します。

VOL.4 慢性疾患

33分

■原案監修：加藤 忠明 前国立成育医療研究センター 成育政策科学研究部長

慢性疾患とは、一般的には症状が長期間にわたって徐々に進行して継続する疾患です。この巻では、子どもにみられる慢性疾患の中から、1型糖尿病や成長ホルモン分泌不全性低身長症などを取り上げて、疾患への理解や対応について解説します。

■予防・対応編

VOL.1 健康状態の把握と保育

31分

■原案監修：岩田 力 東京家政大学 子ども学部 教授

子どもはその成長・発達の過程のさまざまな疾患に罹ります。多くの疾患は発熱、下痢、頭痛などの症状を持っています。この巻では、発熱や下痢などの症状の原因や成り立ちと、その症状が見られた時の適切な対応について解説します。

VOL.2 保育環境と衛生・安全管理

44分

■監修：岩田 力 東京家政大学 子ども学部 教授

■原案：井桁 容子 東京家政大学 ナースリールーム 主任

子どもの健やかな成長・発達を支えるためには、生活・活動の場となる保育環境を整えることが大切です。この巻では、温度や湿度などの保育環境、消毒・手洗いなどの衛生管理を子どもの身体の特徴や発達に合わせて解説します。また事故や怪我の防止のための安全管理を、子どもの行動やその時期の特徴とともに解説します。

■精神保健編

健やかな発達と精神保健

37分

■原案監修：小枝 達也 国立成育医療研究センター こころの診療部長 / 鳥取大学 名誉教授

子どもが健やかに成長・発達していくためには、身体の健康とともに、心の健康が大切です。この巻では、心身症や発達障がい、また虐待といった子どもの心の健康に関わる問題の他、養育者を悩ませる子どもの状態などを取り上げて、子どもや養育者への対応などについて解説します。なお、発達障がいについて、これまでのDSM-IV-TRと2013年に改訂されたDSM-5との変更点についても触れています。